

築川ダム周辺環境整備検討委員会

第 2 回 景観形成検討部会議事要旨

日時：平成 14 年 3 月 4 日（月）13：30～
場所：岩手県自治会館（3 階 第 1 会議室）

出席委員

岩手大学教授	安藤 昭 部長
（社）岩手県建築士会会長	小川 惇 委員
(株)カマタデザインルーム代表取締役	鎌田 昌孝 委員
花設計舎	岸根 八ナ 委員
鷹嘴建築設計事務所代表取締役	鷹嘴 紅子 委員

出席職員

岩手県河川課ダム建設係長	松本 中
築川ダム建設事務所所長	菊池 良治
次長	柏 慶治
工務第 1 係長	石川 潔
主任	菊池 俊彦
技師	高橋 茂樹

	要 旨
1.開会	築川ダム建設事務所次長 (略)
2.あいさつ	築川ダム建設事務所所長 (略)
3.議事	第 1 回景観形成検討部会検討結果の確認... 資料 1
安藤部長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 早速でございますが議事に入らせていただきます。本日の主な議題は 3 つでございます。時間は 2 時間を予定しております。3 時半を目標にさせていただきますと思います。 ・ 早速ですが、第 1 回検討部会の検討結果の確認をしたいと思ひます。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 議事の 第 1 回景観形成検討部会検討結果の確認について、資料 1 によって説明いたします。 (略)
安藤部長	<ul style="list-style-type: none"> ・ いかがでしょうか。よろしいでしょうか。第 1 回のご意見を頂いた結果をまとめたものです。
小川委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 資料 2 の P1 でしょうか？下のところにケーブルの表があるが、この図は逆ではないのか？
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ ご指摘の通り逆になっております。資料を見るときに再度ご説明しようと思ひますが。
安藤部長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前回の検討結果に関しては確認できたということで前へ進めさせていただきます。議題の 2 番目の、付替国道 9 号橋の景観検討について説明をお願いいたします。
	付替国道 9 号橋の景観検討について... 資料 2
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ それでは付替国道 9 号橋の景観検討について、お手持ちの資料 2 と併せてご説明させていただきます。 (略)

安藤部会長	・ 基本的には、それぞれの6案について説明をいただいた。ご質問は。
小川委員	・ 先ほどの件、ファン形式とハープ形式の図が反対になっている。
安藤部会長	・ 今、説明をしてもらいましたが、P2の図から見るのが一番いいのですかね。 ・ P1で9号橋を確認できる場所は展望広場ですか？
事務局	・ はい。
安藤部会長	・ 展望広場からの水平視角はだいたいどれくらいか？
事務局	・ だいたい45度くらいになると思います。
安藤部会長	・ 45度ですと丘陵全体がよく見えるということになりますね。
事務局	・ はい、そうですね。全体的に。
安藤部会長	・ 橋梁全体が見える。凝視すれば細かいところも見えると。
事務局	・ はい。
安藤部会長	・ ケーブル傾斜角についての説明はいただきましたか。主塔とケーブルの横方向の長さとの比較は計算されているか。
事務局	・ それは検討していない。
安藤部会長	・ 後で付け足して頂けるといいですね。
事務局	・ はい。
小川委員	・ 一番上の基本案というのは、雪が垂直に落ちてくれば影響があるかもしれないが、落雪で基本案とV型案では違いがでてくるのでしょうか？
事務局	・ 基本案よりは開いた方が落ちる確率が低いという考え方であり、この形態の決定に大きく左右する程のものとは考えていない。
小川委員	・ 大した問題ではないと。 ・ それから、基本案とY型の橋脚の圧迫感の問題では、ダムのような目地を入れてはどうか。
安藤部会長	・ 桁下にデザインを入れるということですね。
小川委員	・ 橋脚にダムや5号橋のような目地を考えたらどうか。ちょうど橋の真下のところに、5号橋みたいな目地を入れたら、橋脚の幅の広さというのがある程度防げるという感じがします。
安藤部会長	・ それぞれの案でコスト的には大した差はないらしいです。基本案にデザインを入れるのがよろしいか、V型案を採用するのがよろしいか、Y型にするかご意見をいただきたい。
小川委員	・ 工事費のところ、1案と3案では増分が2,400万となっておりますけれども、建築的にいうと配筋が複雑になり、非常に構造的には不利になってくると思っています。配筋なんかも注意しないと、コンクリートがまわらないということが建築ではよくあることです。道路の方ではどうだかわかりませんが、桁下でうける部分が少ないということが問題だと思いますね。
鎌田委員	・ このパイプ状の現物を見せられた訳ですが、こんなに太いのであればかなり視覚的にはいってけるとおわれます。重なったときに交差状のものがきれいに見えるか、それがちょっと心配です。
事務局	・ 確かに側面から見たときに、手前側と奥側の斜材が重なったときには複雑に見える。それが実際に遠距離に離れたところから見た場合に、今感じている圧迫感とは見えかたが違ったものを感じられるのではないかと。
鎌田委員	・ 色にもよるか。
事務局	・ そうですね。 ・ 実際に、着色等もしている事例もあります。
小川委員	・ 直径はどのくらいですか？
事務局	・ 18cmです。
安藤部会長	・ 手前の模型の縮尺はあっているか。
事務局	・ そこまでの精度をもたせていない。
岸根委員	・ ケーブルの本数というのは10本なのですか。

事務局	<ul style="list-style-type: none"> 今の段階では13本ございます。
岸根委員	<ul style="list-style-type: none"> だいたい10本でイメージを書いているようなのですが、P7の施行例の右側の方の写真を見ますと、一番右側の中間のところの感じと、その左側のところの写真の感じとたいぶイメージが違う。実際のものはどうなのか知りたいのですが。
鷹觜委員	<ul style="list-style-type: none"> 雫石川にあります橋で、斜張橋にした場合にケーブルの太さがどれくらいかというお話があったのですが、その時に確かケーブル一本30cmという。ですから、あれくらい大きな橋になると30cmくらいのケーブルが必要で、今回18cmであり思っていたよりはケーブルの口径が太くないのではないかという感じがします。 デザイン的なことでは基本案はまっすぐ立っているの、そうすると結局まっすぐ引っ張られるかたちになると思う。その他の案は、斜めから手前の方に引っ張ってくるため、ケーブルが橋を支えているような感じで不安定感があります。基本案は不安がない感じ。
小川委員	<ul style="list-style-type: none"> 例えば、横がケーブル、こうなっている場合にはこちら側と向こう側に角度ができますよね？広がり案というのがなんでできてきているのかというと、走っている時に上が広がっていた方が視界が広く見えるという効果なのかなと思っています。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 広がりを持たせることで走行時の圧迫感が少ないという効果があると考えています。
安藤部会長	<ul style="list-style-type: none"> このケーブルの太さのバリエーションはどのくらいか。例えば、細いケーブルだと本数が増えるとか。 また、ケーブルの重なり具合は、景観に対してどういう角度から見込んでいるかどうかという関係も検討した方がいい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 塔の高さ24.0m、そしてケーブル13本というのが構造的にはベストだと考えている。色の関係では、黒・白・青の選択が可能であるが白は太くみえる傾向があるのではないかな。
安藤部会長	<ul style="list-style-type: none"> エクストラドーズド橋というのは、ケーブルの太さを細くできるというのが特徴でしょうから。 塔高と幅員の比が1.0以下だとかなり圧迫感がでるような気がする。ケーブルの見えに関しては、視点場と橋梁の高さ、桁に対する位置関係の考え方も変わるのではないかな。 また、基本形だと原始的な感じ、他の斜めに傾ける案はダイナミックな感じに映るといったことはないかな。V字型は施工が大変という指摘もありました。
小川委員	<ul style="list-style-type: none"> 先ほどのご説明で視点場から見たときに、その下をあけた効果があまりないということもありますので、V字型は省いたほうがいいのではないかなと思いますけどね。
安藤部会長	<ul style="list-style-type: none"> では、基本形とY型にしぼっていいですね。
小川委員	<ul style="list-style-type: none"> Y型案の説明がありまして、開放的な空間ということが書いてあります。確かに広げている場合にはそういうのが一番の効果だと思いますが、逆に構造物で問題になるのは安心感かと思うのですが、例えば、人に与える安心感というのが非常に大切だという見方をすると、Y型案の広げている開放性と、基本案の塔が立っている方の安心感とを、比較しようとすればそういうところになると思う。
鎌田委員	<ul style="list-style-type: none"> Y型案の広げる案は視覚的に不安定。
岸根委員	<ul style="list-style-type: none"> 基本案の塔が同じ太さで立ち上がっているが、上の方を細く、下の方をやや太くすることで安定感がますのではないかな。
安藤部会長	<ul style="list-style-type: none"> 基本案がよろしいのではないかなというご意見ですが、それでは基本案に絞ってもよろしいですね？一応基本案にしたいと思います。

小川委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ ハーブ形式の特に下の方のケーブルというのは構造的に効いていないというか、そういう感じがしますよね？それじゃ吊る意味がない。
鷹觜委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ ファン形式の方が、その橋を渡っていくときに開放的な感じになりますし、野鳥にも配慮できるものと考えます。また、重なりあうことが汚いのではなく、重なりがあったほうがもしかしたらきれいなのではないかという気もします。
小川委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 隙間が多いですよ、ファンの方が。結局、やはり見える面積が多いということは言えるのではないかな。
鎌田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 重なりを実験した方がいい。
岸根委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ モンタージュ写真に山があるんですけども、それとうまくマッチするような印象を受ける。
鷹觜委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 部屋の中で見る 18cm と大自然の中でみる 18cm って違うのではないか。
安藤部会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 方向性としてファン形式でいこうということでもいいですか。これで、基本形のファン形式でという方向性が見えてきました。 ・ 主塔頂部が道路側にカットされている事例があるが雪が落ちる心配はないか？
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 青森での事例であとから融雪装置を設けている。これは、失敗例であるとする。
小川委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 上の面積というのは以外に大きいですね。1.5m の 4m だからね。小さな屋根ぐらいになる。
安藤部会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ あとは、定着部をどうするか。事例のように桁の下に隠すか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 設計の段階で、できるだけ見えない方法でというご提言をいただければ、今後その方向で考えたい。
安藤部会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ P7 の桁下のテクスチャー処理の事例。こんな工夫が必要ということですよ？
小川委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 極端にきるか、水勾配程度にするかということがある。
安藤部会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ これはダムサイトから見たときのシンボリックな橋になりますので、ライトアップというのはどう考えるか。それは、ここのコンセプトに合っているかなどご検討ください。
小川委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ ダムサイトから見たときのシンボルとして、ライトアップは必要ではないか。
岸根委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自然との共生という考え方からいって、今現在の自然というものをあまり壊したくないなというのがある。生物たちというか、植物への影響という考え方もよぎりましたので、するとしてもライトアップの方法などに気を使いながらやる必要があると思います。
小川委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 先ほど野鳥ということがありましたが、ライトアップというのはプラスなのか、逆にマイナスなのかその辺も一つの資料になると思いますね。
安藤部会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ これは3回に向けて検討していただく。両方の観点から。
	(休憩)
	付替国道の電力柱移設に係る景観検討について... 資料3
	・ (略)
安藤部会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ それでは残された時間でご質問・ご意見をどうぞ。 ・ 電柱を立てる場所ですけれども、どういうところに電柱を立てるのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 図の青と黄色の部分、青がトンネルになります。トンネルの断面図が載っております。ちょっと見えづらいのですが、電線を歩道に埋めこむということです。 ・ 黄色の部分の橋についても、一番右側の断面図ですが、歩道に埋設することになります。残りは一般部という赤いところですね。これは

	<p>断面図に表しますと、一番左側に赤い色で電柱を立てておりますが、電柱を建てることとなります。</p> <ul style="list-style-type: none"> この工事につきましては、県が直接行うものではないことから、3kmのうち1km分について電線を立て込むということなのですが、その1km分全部埋設にしたいというご意見が実際あったわけですが、それについては億単位の差額が生じてくる。これは補助事業につき、その分の費用についてはどこからも生み出せないということがございまして、やむを得ず景観に配慮する方法はないものかということでみなさんに諮っております。
鷹嘴委員	<ul style="list-style-type: none"> 電柱を立てるといことは決定的なことだったのですか？というのは、“野鳥に配慮して、よく見えるように”と言っておきながら、ケーブルと電線の太さまで比較して、それよりも長い、3kmの区間に電柱を立てるといのがわからない。
小川委員	<ul style="list-style-type: none"> ここからここまでは電柱はないのですか？一部分だけが電柱が出てくる。(築川道路7kmの内、3km区間が電柱か？の確認)
事務局	<ul style="list-style-type: none"> はい。 その区間は、歩道がありまして、立てる場所は歩道を除いて外側に考えたい。
安藤部会長	<ul style="list-style-type: none"> 電柱の材料はコンクリートに決まっているのか？トランスも設置するようになるか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> コンクリートに着色をするかどうかという判断したい。 それから先ほどトランスの話がありましたが、この道路に照明、トンネル照明、あるいは管理事務所の電源、これらを引かなくてはいけませんので、そうしますと、そういう施設に引くためには高圧線をとっているわけですが、低圧に変電しなければいけないとなりますと、変圧器であるトランスを部分部分に設置する必要があります。
鎌田委員	<ul style="list-style-type: none"> 今までのイメージでないものを考えられないか。茶色にするかどうかということではなく。
岸根委員	<ul style="list-style-type: none"> コンクリートを茶色に塗るのは似合わない。
安藤部会長	<ul style="list-style-type: none"> 今までのデザインを一新するようなモダンなデザインのものを考えられないか。
鷹嘴委員	<ul style="list-style-type: none"> 木の電柱ではどうか。
安藤部会長	<ul style="list-style-type: none"> 事務局にお伺いしますが、電柱案はもう崩せないという前提なのか。我々がやるのはデザインということなのか確認した方がいいですね。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 一応こういう意見があったという話は上げるんですけども、ただ額が額なのでどこまで説明できるか分からない。何とか電柱を周辺に溶け込ませる方法がないか。
安藤部会長	<ul style="list-style-type: none"> トンネルと橋梁以外は電柱がでてくるということであるが。検討部会としては埋設が望ましいということを入れていただいてもよろしいですね？ただ、どうしてもという場合は検討するということで。
小川委員	<ul style="list-style-type: none"> やはり、電柱がでてくるのはいかなものか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> いわゆる橋梁照明はある。橋梁照明も茶色にあわせたもので考えるということになるかもしれない。
鷹嘴委員	<ul style="list-style-type: none"> 電柱の線がどうしても気になるが。
鎌田委員	<ul style="list-style-type: none"> 電柱らしく見えないものを考えたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 早池峰ダムでは、茶色の電柱を使っている。景観に溶け込ませたという工夫がされている。
小川委員	<ul style="list-style-type: none"> 街路照明よりも電柱はずっと太いし、工夫としては植栽でできるだけ隠すということが必要だと思う。
安藤部会長	<ul style="list-style-type: none"> 街路樹を植えるとしてもどの辺から植えれば景観的に気にならないか

	<p>ということも考える必要がある。ドライバーの視点から見て気にならない街路樹の植え方をどう考えるかなど。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 今日、まとめないということによろしいでしょうか。次回へ向けて検討していただくということにしたいと思います。
事務局	<ul style="list-style-type: none">・ 次回の日程は再調整してご連絡いたします。

[もどる](#)